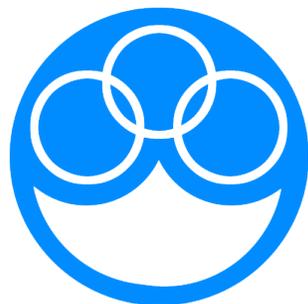


成人年齢とたばこについて

世論調査結果【概要】



令和4年5月31日
国立がん研究センター

調査の背景および目的

(調査の背景)

- ✓ 5月31日は、「世界禁煙デー」
- ✓ 本年4月1日より、成人年齢が18歳に引き下げられた
- ✓ たばこについては、20歳未満の喫煙禁止は変わらなかった
- ✓ 低い年齢からの喫煙は依存性を高め、健康被害が大きいためである



(目的) 下記、世論の状況を把握する

- ✓ 20歳未満喫煙禁止が変わらなかったこと、その理由の認知度
- ✓ 20歳になったら、たばこを吸いたいと思うか／思ったか
- ✓ たばこをすすめたいか／禁煙をすすめたいか
- ✓ 今後のたばこ対策をどのようにすべきか
- ✓ 今後の受動喫煙対策をどのようにすべきか

本日は概要
をご報告

調査の概要

- (1) 実施期間 令和4年4月22日(金)～4月27日(水)
- (2) 実施方法 インターネット・アンケート調査 (株式会社ネオマーケティングへ委託)
- (3) 回答者 18歳以上の男女:2,040人 うち20歳以上:2,000人
喫煙者1,000人、非喫煙者1,000人。それぞれ姓年齢別に割り付け(下表)
全体に占める割合(母集団構成比)は、喫煙率で調整して復元(図)

表 年代別・喫煙状況別の回答者数(20歳以上)

| | 男性 | | | 女性 | | | 男女 |
|-------|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|
| | 喫煙 | 非喫煙 | 計 | 喫煙 | 非喫煙 | 計 | 合計 |
| 20代 | 91 | 56 | 147 | 26 | 65 | 91 | 238 |
| 30代 | 129 | 55 | 184 | 28 | 73 | 101 | 285 |
| 40代 | 183 | 67 | 250 | 50 | 93 | 143 | 393 |
| 50代 | 145 | 66 | 211 | 58 | 83 | 141 | 352 |
| 60代 | 129 | 61 | 190 | 37 | 84 | 121 | 311 |
| 70代以上 | 97 | 115 | 212 | 27 | 182 | 209 | 421 |
| 合計 | 774 | 420 | 1194 | 226 | 580 | 806 | 2000 |

注) 18歳・19歳については、
割当なく期間内の回答を全数回収した結果、40人であった。

【全体】喫煙状況別

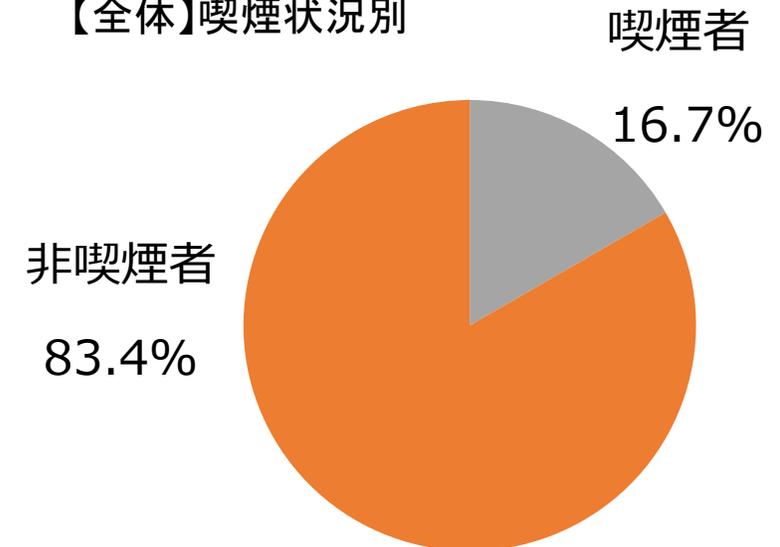
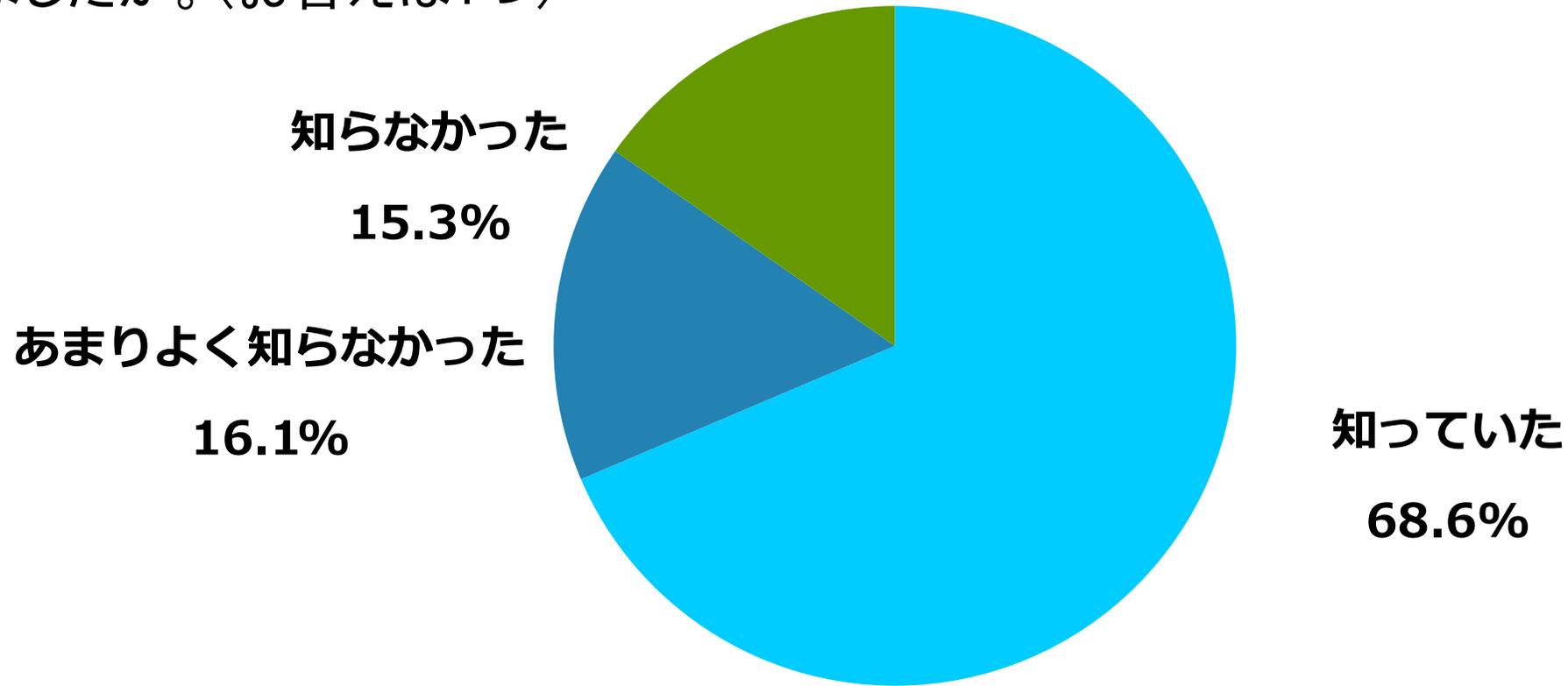


図 喫煙率に応じた調整(ウエイトバック)

18歳・19歳成人は、喫煙が禁止されることについて

【20歳以上全員】成人年齢は20歳から18歳に引き下げられましたが、たばこ(喫煙)、お酒(飲酒)、ギャンブルについては、20歳以上のままとまりました。18歳で成人となっても、喫煙や飲酒などは禁止されています。18歳や19歳の成人は、喫煙が禁止されていることを知っていましたか。(お答えは1つ)



- ・わが国では、未成年者喫煙禁止法(明治33年制定)
- ・今年4月からの18歳成人でも、喫煙可能な年齢は引き続き20歳のまま

**【20歳以上全員】あなたは、喫煙開始年齢に関連して、どのようなことを知っていますか。
この中からいくつでもあげてください。（お答えはいくつでも）**

喫煙開始年齢が低いと、喫煙年齢が長くなる

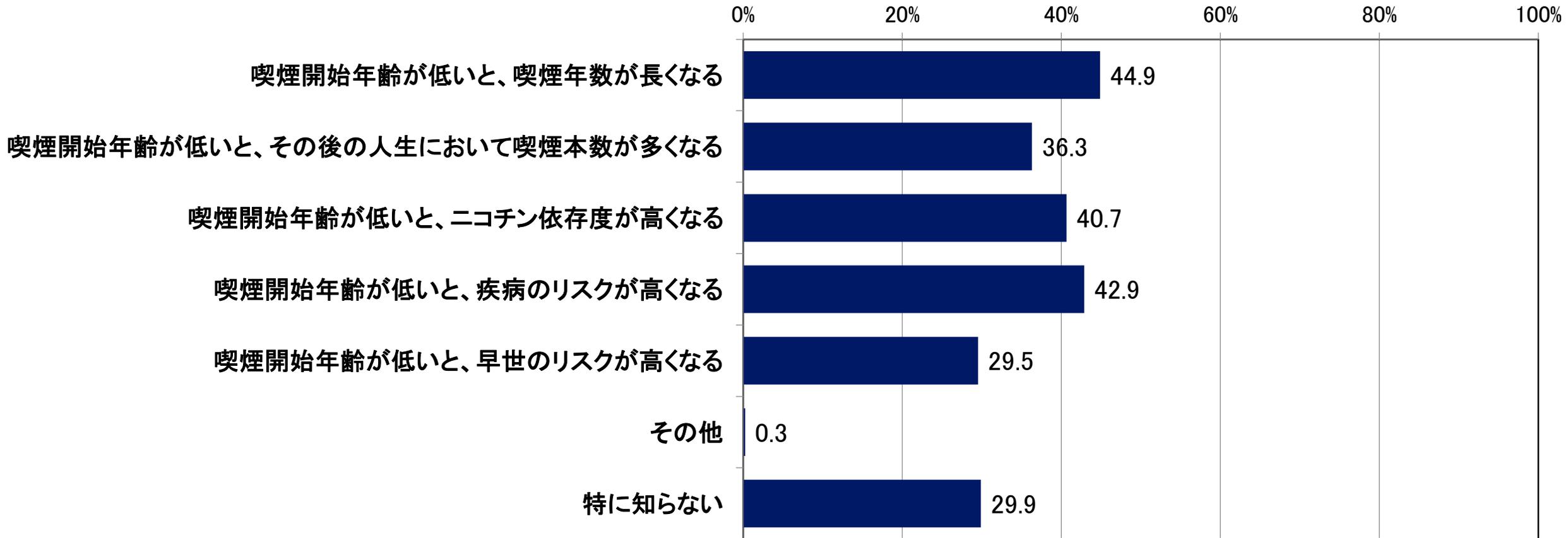
喫煙開始年齢が低いと、その後の人生において喫煙本数が多くなる

喫煙開始年齢が低いと、ニコチン依存度が高くなる

喫煙開始年齢が低いと、疾病のリスクが高くなる

喫煙開始年齢が低いと、早世のリスクが高くなる

喫煙開始年齢と健康リスクについて知っていること

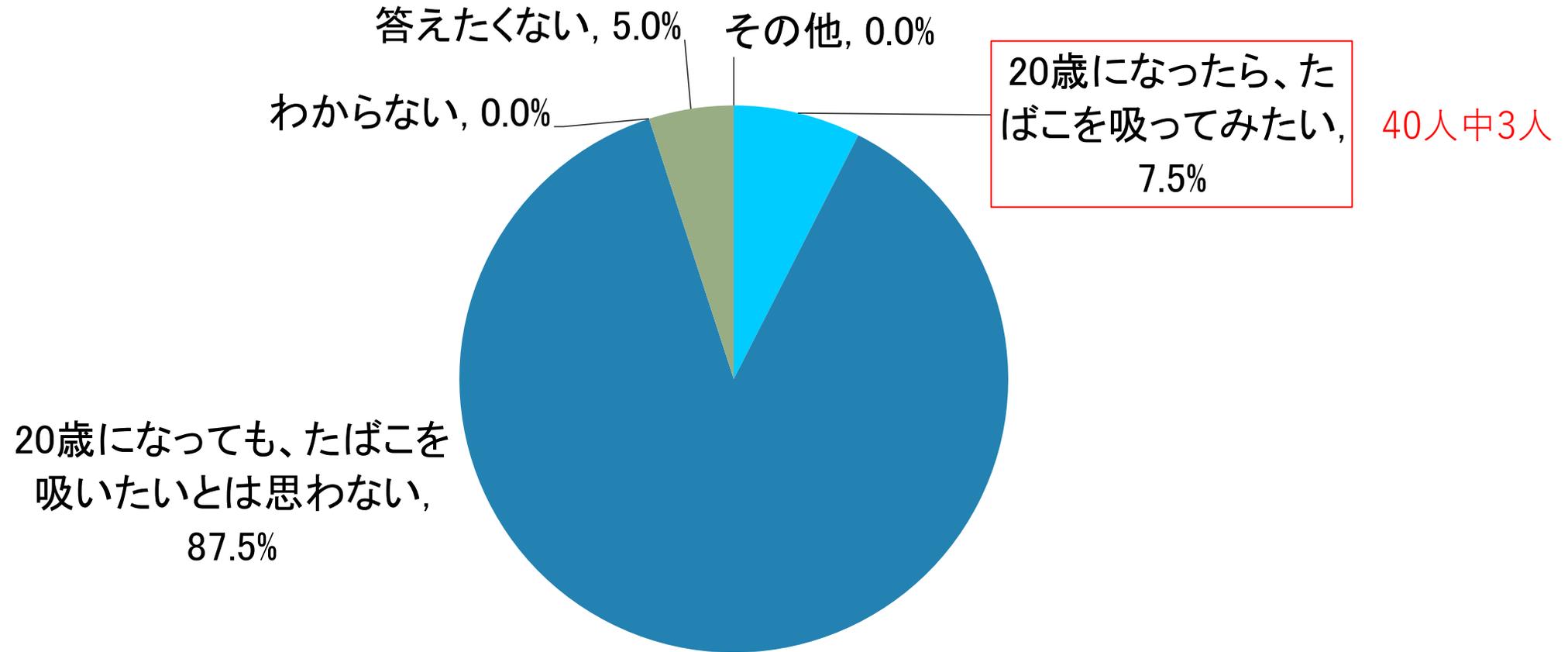


今回の調査から

- ✓ 全てが50%以下であり、低年齢からの喫煙についてのリスク認識は高くない
- ✓ 若者の喫煙の健康影響について、普及啓発が課題

【18歳、19歳対象】20歳になったら、たばこを吸ってみたいと思うか

【18歳、19歳】20歳になったら、たばこを吸ってみたいと思いますか。（お答えは1つ）（N=40）

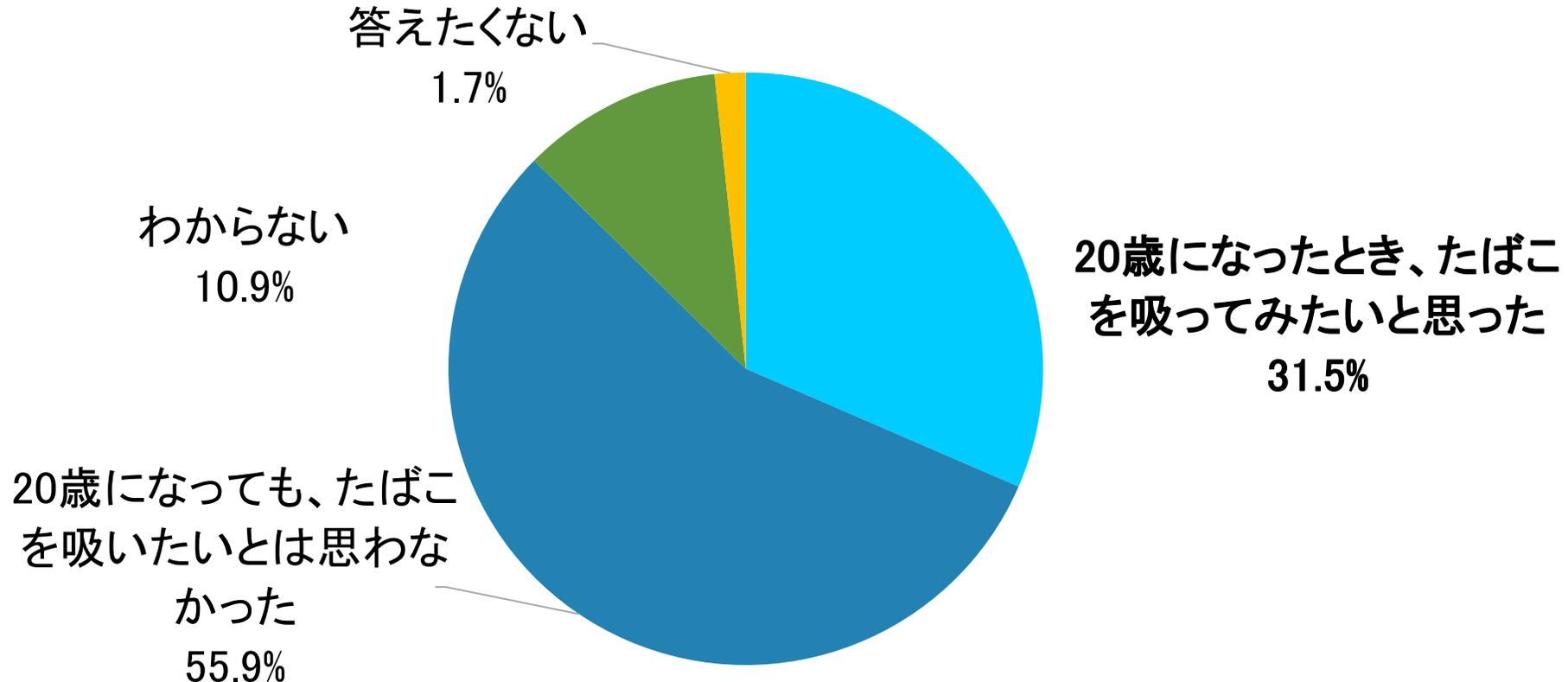


20歳になったら吸いたいと答えた人は少なかった

【20代】20歳になったら、たばこを吸ってみたいと思ったか

【20代】20歳になったときに、たばこを吸ってみたいと思いましたか。

(お答えは1つ)

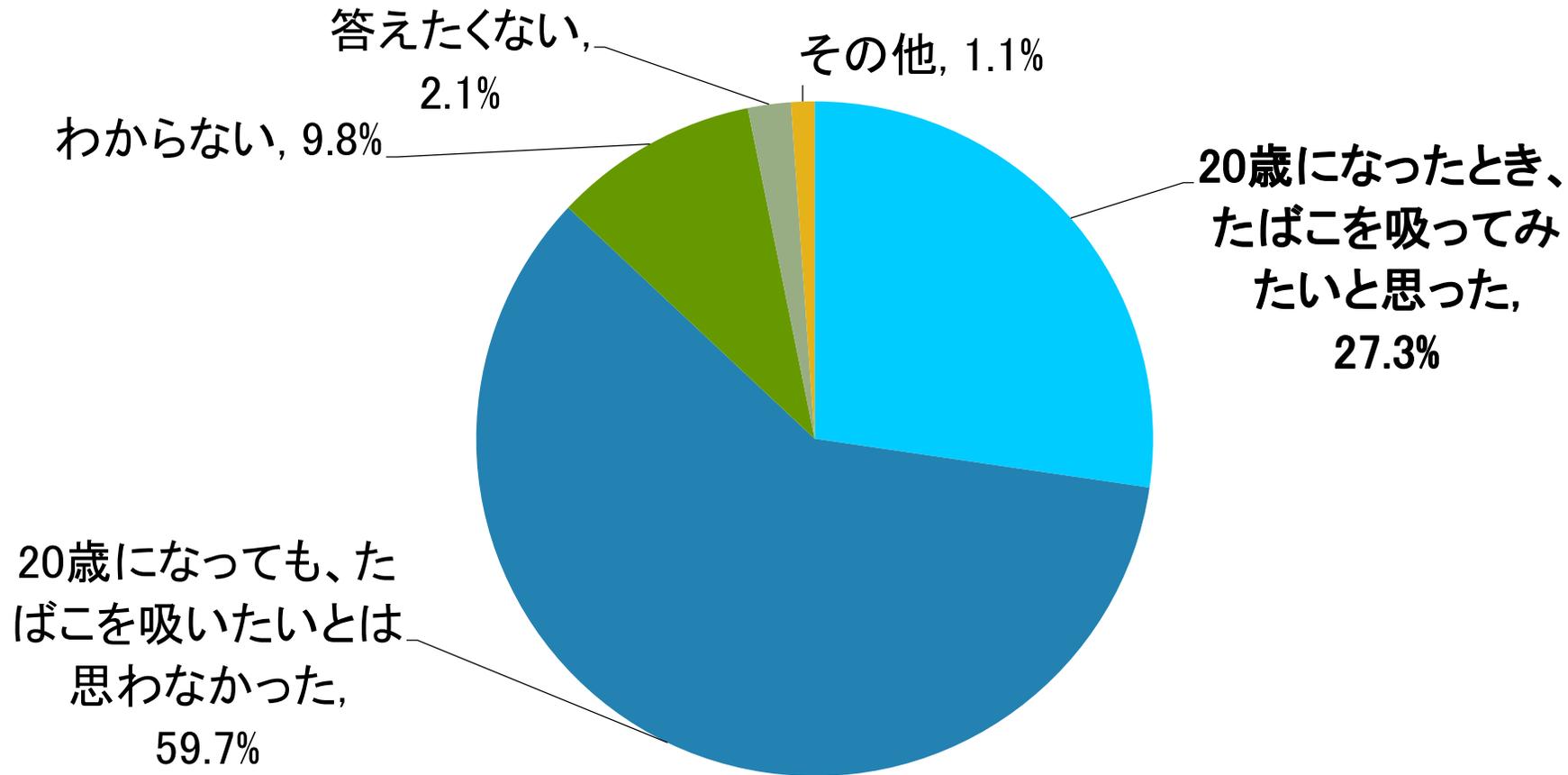


20歳になったら吸いたいと答えた人は少なかった

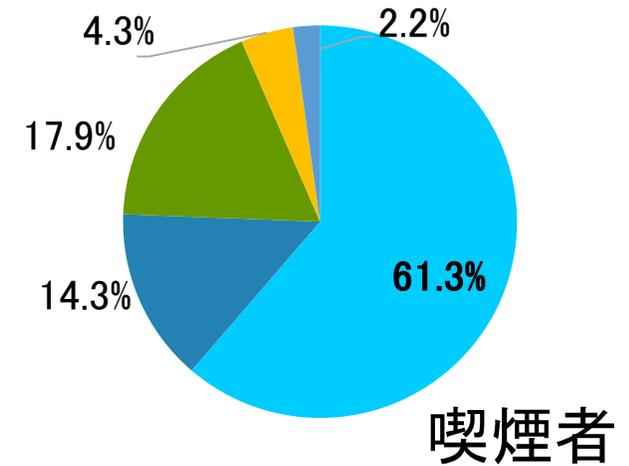
「20歳になったときに吸ってみたい」と思わせないことが重要

【20歳以上】20歳になったら、たばこを吸ってみたいと思ったか

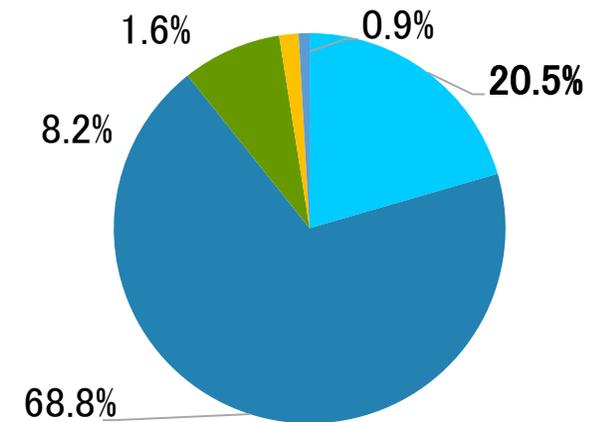
【20歳以上全員】20歳になったときに、たばこを吸ってみたいと思いましたが（1つ選択）



20代と20歳以上は、あまり変わらない結果



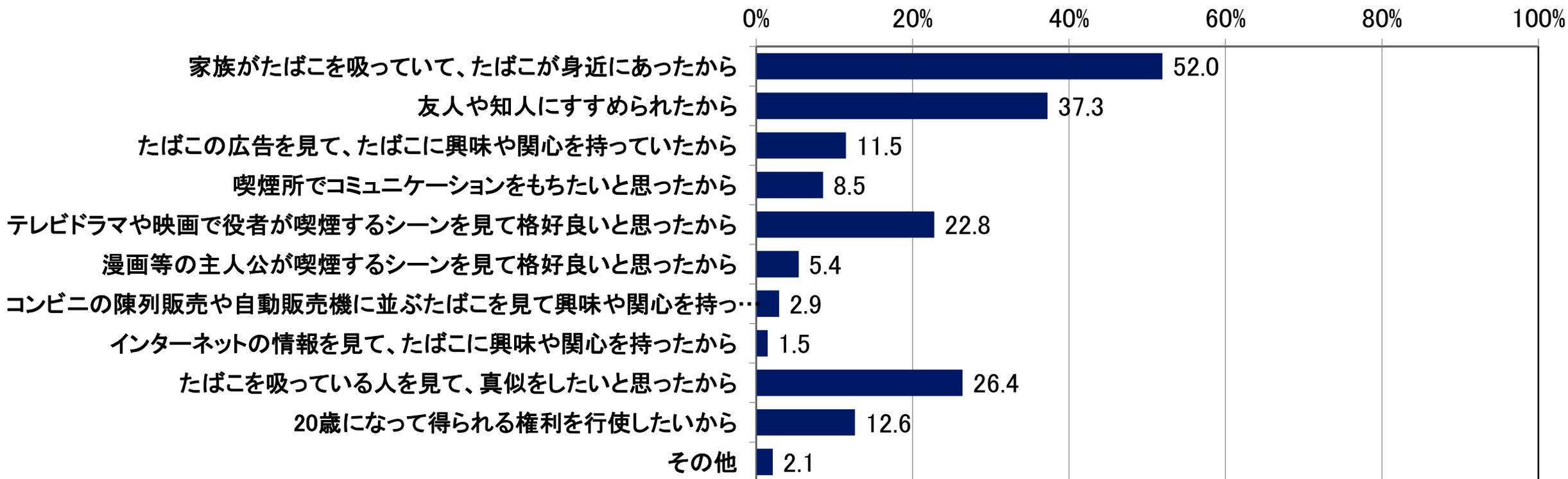
喫煙者



非喫煙者

【吸ってみたいと思った人に対して】たばこを吸ってみたいと思ったきっかけ

【20歳以上】前問で、「20歳になったとき、たばこを吸ってみたいと思った」と答えた方に伺います。たばこを吸ってみたいと思ったきっかけは何でしたか。
この中からお考えにあてはまるものを、いくつでもあげてください。（お答えはいくつでも）

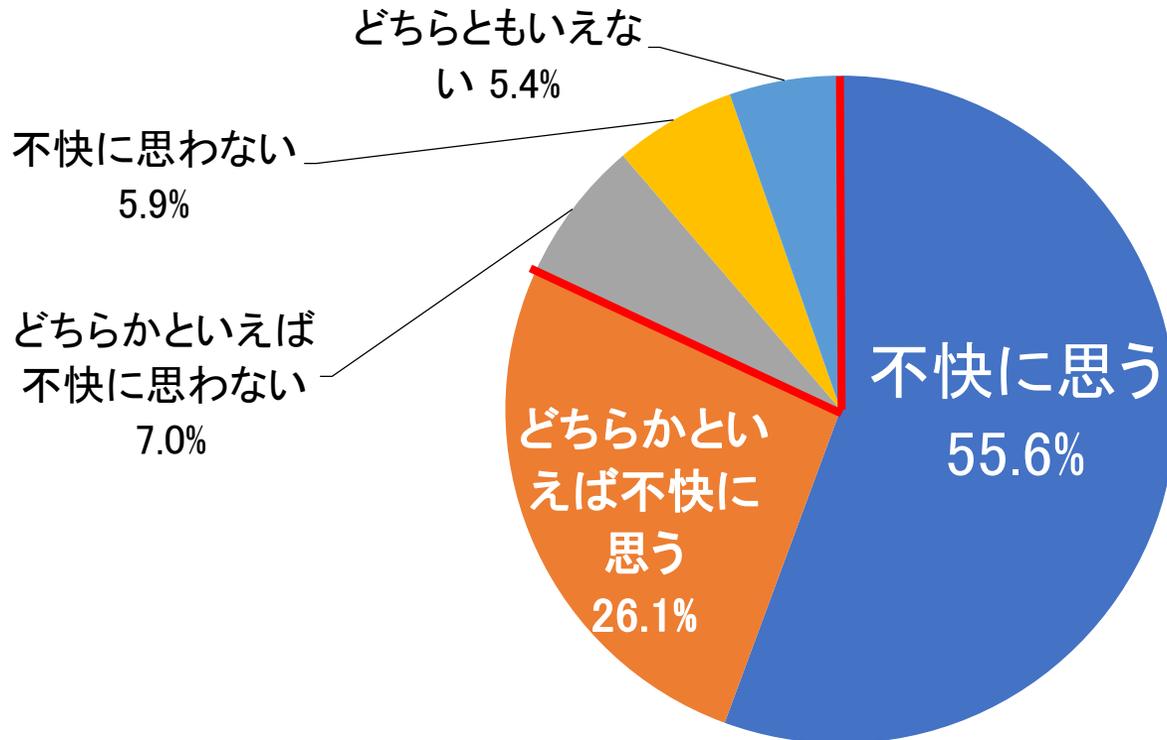


家族、友人、周りの人がたばこを吸っていると、子どももたばこを吸いたいと思うようになる

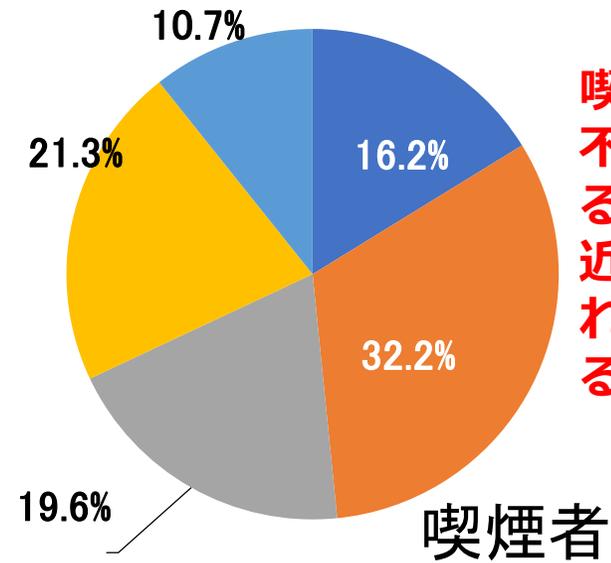
子どもの周りでは、たばこを吸わない、たばこを見せない！

周りの人のたばこの煙を不快に思うか

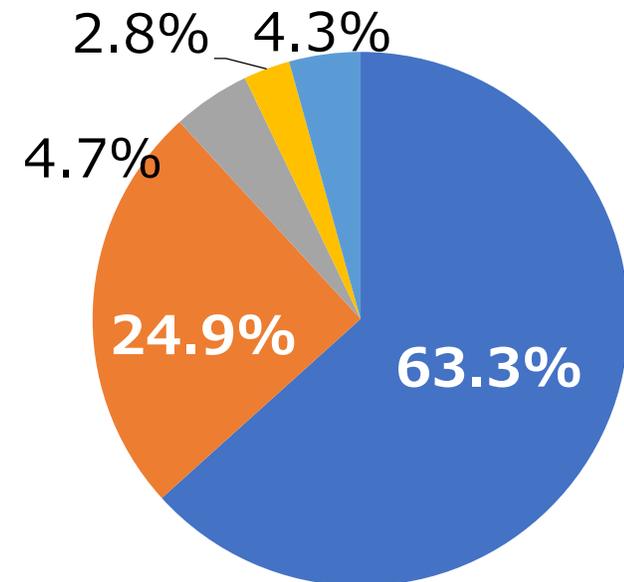
【20歳以上全員】あなたは、周りの人のたばこの煙について、不快に思いますか。この中から1つだけお答えください。
(お答えは1つ)



周りの人のたばこ煙は、約8割の人が不快に思っている



喫煙者でも不快に感じる割合が5割近くと、それなりにある



非喫煙者では不快に感じる人が約9割

非喫煙者

受動喫煙対策を今後どの程度進めるべきか

【20歳以上全員】あなたは、公共空間での受動喫煙対策について、今後どの程度の対策を進めるべきと考えていますか。この中から1つだけお答えください。

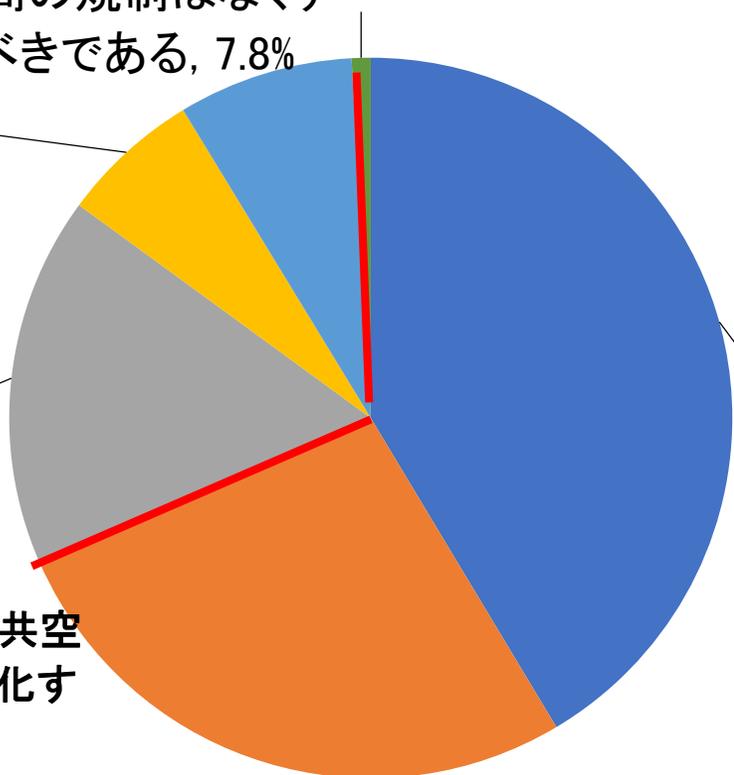
(お答えは1つ)

喫煙者の気配りや配慮にゆだね、公共空間の喫煙に対する規制は緩めるべきである、6.3%

喫煙はあくまで個人の自由であり、公共空間の規制はなくすべきである、7.8%

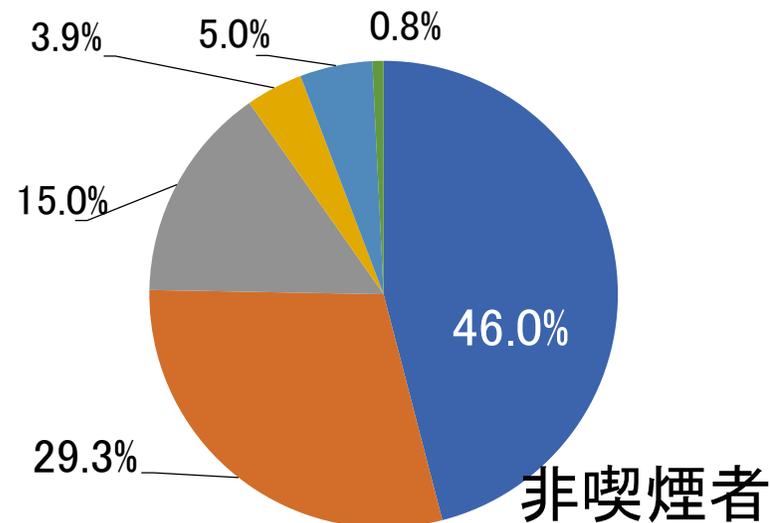
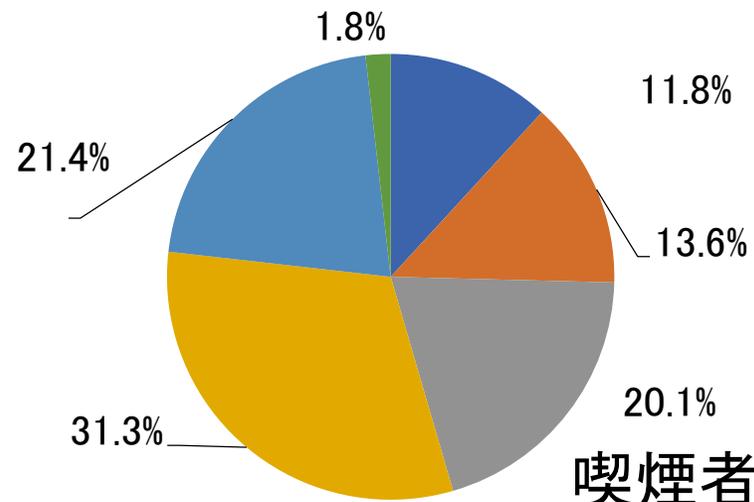
その他、0.8%

現状の規制が適切であり、続けるべきである、16.6%



全面禁止／規制強化が、合わせて6割以上

受動喫煙のない社会をめざし、公共空間での喫煙を一律に禁止すべきである
41.4%



非喫煙者は、一律禁止を求める割合が46%、規制強化29%と、相当に高い
喫煙者では意見が割れている。禁止/規制強化を求める割合が3割近くと、相当の割合がある

まとめ

- ✓ 喫煙開始年齢と健康リスクについての認知度は、それほど高くない
喫煙開始年齢と健康影響の関係の普及啓発が重要な課題である
- ✓ 20歳になったら、たばこを吸いたいと思う人は、40人中3人だった
20歳になったら、たばこを吸いたいと思った人は、27.3%であった

子どもの周りでは、たばこを吸わない、たばこを見せない！

- ✓ 今後の受動喫煙対策について

非喫煙者は、一律禁止を求める46%、規制強化29%と、相当に高い

喫煙者では、意見が割れている。禁止/規制強化を求める意見も約25%あった

公共空間での受動喫煙対策強化に高い支持

調査報告書は、国立がん研究センターのホームページよりご覧頂けます

今回はご紹介できなかった内容も記載しています

- ✓ たばこをすすめたいか／禁煙をすすめたいか
- ✓ 今後のたばこ対策をどのようにすべきか など

がん対策推進基本計画の目標である喫煙率の減少を推進するため、
調査等に基づく科学的なデータの提示や、
世界の動向に関する報告などを通して、政策の実現を支援します。

国立研究開発法人 国立がん研究センター
〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

がん対策情報センター がん対策研究所
がん情報提供部 たばこ政策情報室
TEL：03-3542-2511（代表）
E-mail：tobacco @ ncc.go.jp

企画戦略局 広報企画室
TEL：03-3542-2511（代表）
FAX：03-3542-2545
E-mail：ncc-admin @ncc.go.jp